

ほじんかい
「輔仁会」命名の由来

理事長 / 園長 大浦純平

そうし いわ くんし もつ もつ じん たす がんえん
- 曾子曰く、君子は文を以て友を会し、友を以て仁を輔く 《論語 / 顔淵 篇》 -

「曾子が言われた、君子は文事によって友達を集め、友達によって仁の成長を助ける。」

法人名の名称の由来について書いてみました。実は、理事長の私もこの名の由来については、『私の祖父(大浦貫道/故人)が、初代理事長の大浦仁子(私の母)に、法人設立に際し論語から採って贈ったということ、本来の意味とは別に、「仁子の事業意志を助ける(輔ける)」をかけたということ』以外にその詳細については知りませんでした。

その内調べておこうと思いつながりながら長年経ってしまいましたが法人合併や新園建設などが完結し、一息ついたので、今まで縁の無かった『論語』をひもといてみました。そして、上記の一文に至ったのです。

この解釈については多くの学者によるものがありました。平易な文章で記してあったもの一つをご紹介します。

自分ひとりで教養を身につけるよりも、異なった人間素養を身につけた友人を沢山持ち、切磋琢磨して、お互いの人格向上のために、相互啓発に努めることは大いなる財産である。

友人を持つこと、そして彼らから得る智慧は、一人で苦しんで得るよりも多くの方向性を生み出す。

判断の誤りを少しでも少なくできるだけでなく、もっと広い見地から物事を判断する材料を与えてもらえるものである。

ここで言う「仁」は、相手をゆるし信じあえる心をさしてあり、その心のふれあいを通して相互の進歩向上ができる心を指している。大いなる心である。

祖父が母にこのような「輔仁」の本来の意味を伝え、さらに、社会福祉事業の目的を達成するための重要な意味を含んでいることを言葉として贈ったことに間違いはなかったと思います。何せ、40年も前の口述

ですから、具体的にどのような内容であったのかは定かではありません。母の記憶を頼りに、祖父がどのような意味づけをしたのかを私の主観も少々入ってはいますが、下記のように文章化してみました。

子育ては一人でできるものではない。子どもを核として、子と親、親と親、子と子、子と保育者、保育者と保育者、そして、親と保育者という関係が成り立つ。お互いが切磋琢磨し、相互啓発することによりその関係性が深まる。子にとって、親にとって、保育者にとってそれは大いなる財産である。育つ者、育てる者の三者の関係の中にあること、そして、相手から得る知恵は、子ども自身の成長と親と保育者の子育てに多くの方向性を生み出し、子育ての誤りを少しでも少なくできるだけでなく、もっと広い見地から物事を判断する材料を与えてもらえるものである。

保育園を経営する社会福祉法人にとって、最も大切なものは「人」である。特に「人と人の関係が良好に運び、お互いに啓発し合い向上してこそ素晴らしい子育てのお手伝いができるのだよ」と、祖父は伝え

たかったのだという事を母と共に確認しました。今後も、輔仁会という名を汚さぬよ、この精神を今後の法人運営の拠り所として、なおいっそう大切にしていきたいと思っています。



つぼみ保育園年報 第10号

2006年(平成18年)12月1日発行

発行 / 編集

社会福祉法人 輔仁会 つぼみ保育園

〒813-0044 福岡市東区千早1-18-24

[TEL] 092-681-4782 [FAX] 092-681-4780

[E-mail] tsubomi@nifty.com

[HP] http://www.hojinkaied.jp/tsubomi/

児童福祉施設福祉サービス
第三者評価を受審しました

児童福祉施設福祉サービスの第三者評価を去る十月十六日に受審しました。来園された評価者は大阪と熊本にある大学の教授二名と宮崎の保育園園長の計三名の方々でした。

この第三者評価とは、保育園・児童養護施設、母子生活支援施設および乳児院で行われている福祉サービスを公正で中立な第三者評価機関が専門的・客観的な立場から評価するものです。

その目的は、それぞれの児童福祉施設で行われている福祉サービスの質を向上させること、利用者や施設を選択する際に役立つ情報を提供すること等、利用者本位の福祉を目指すため、この二点を達成することが第三者評価の目的です。

当日は朝八時三〇分にお出でになり、先ず、登園風景を観察、受け入れ状況等が調査されました。九時三〇分からは職員朝礼の立会、業務指示等の観察がなされました。一日の作業手順の打ち合わせの後、お一人が事務室に残り、管理職への聞き取りが行われました。保育理念の周知の仕方や保育計画の立案手順等詳細にわたって調査が行われました。

児童福祉施設福祉サービスの第三者評価を去る十月十六日に受審しました。及び保護者アンケートが実施されました。

自己評価は、園長をはじめ多くの職員が参加し、評価調査チームが用いる評価基準と同じものを使って、日々の事業運営状況を自己評価し、まとめたものを評価機関に送付しました。

保護者アンケートでは、保護者の方々に、園が提供する保育サービスにどれだけの満足しているのかを、無記名で答えてもらい、直接、評価機関に郵送してもらいました。

私たちは、この評価受審をすることを決定した後、日頃の業務内容の検証をしました。すると、判つてくるつもりが、全員へ徹底してないことが多くあることを発見し、それを文章化し基準便覧(マニュアル)としてまとめる作業をしました。

また、評価結果と共に送り返される保護者アンケートの結果からは、園側の自己評価と異なる回答が寄せられていることが判ると思

一方、別のお二人は年少組と年長組に分かれて保育風景を観察、現場で保育士に質問がなされました。昼食をはさみ、栄養士への聞き取り、何人かの保育士への聞き取りが行われ、午後四時から降園風景や延長保育への移行の状況等が観察され、一日が終わりました。

後日、評価機関に調査内容を持ち帰り、検討が行われその結果、項目ごとにA、B、Cの評価が付されたものが送り返され、その後、インターネット上で公表されることとなります。

今回の取り組みを通じて、多くのことに気づき修正ができたことに加え、基準便覧という財産を手に入れることができました。今回の評価受審への取り組みは大いなる意義があつたと思っています。

「親子とは」

父母の会 会長 中島秀樹



私は、平成18年度つぼみ保育園父母の会会長を務めさせて頂いております中島と申します。昨年、一昨年度は副会長を務めさせて頂き、今年度より会長を務めさせて頂いております。園行事及び父母の会行事に積極的に携わるようになり、子ども達と向き合う機会が多くなりました。子ども達を見ているといつも元気一杯で目を輝かせている姿に自分自身、元気を貰うことも多々あり、やはり子どもは財産だと痛感しながら充実した日々を送らせて頂いております。子ども達が少ないながらも楽しい思い出を作れるよう、これからもできる限りのことをしていきたいと思っております。

さて、最近ニュースや新聞などで子どもに関する話題が毎日のように報道されています。自らの命を絶ってしまった子どもや友達や他人を平気で傷つけてしまう子ども、それとは逆に親がわが子を虐待するといったニュースなどを見ていると、私も子を持つ一人の親として悲しさと腹立たしさを感じます。今これを書いている最中も「いじめ」のニュースが流れています。こういったことは以前から少なからずともあったと思いますが、特にここ数年で耳に

することが増えてきた気がします。何故なのでしょう？自らの命を絶ってしまった子どもの大半は、悩みを誰にも打ち明けることが出来ずに「死」という選択肢を選ばざるを得なかったのかも知れません。では何故一番身近な親に何も言えなかったのか？何故一番身近な親がそれに気付いてやれなかったのか？親としては非常に辛いことでしょう。確かに今はインターネットなどの普及で様々な情報が豊富な社会であり、テレビゲームなんかでも私たちが子どもだった頃にはなかったものの存在で生活環境が変化しているのは間違いありません。

しかし、世の中が変わっても子どもにとって親とは信頼できる立場にあるべき存在であり、大人とは子どもたちを時には厳しく、時には優しく見守ってやるものだと私は思います。そして、このつぼみ保育園の子どもたちにはいつまでもその目の輝きを持ち続けてもらいたい、そんな園生活を過ごしてもらうために微力ながらお手伝いをさせて頂きたいと思っております。まだまだ若輩者ではございますが、ご指導ご鞭撻の程、何卒宜しくお願い申し上げます。

ます。保護者の皆様により支持されている点や、不満に思われている点明らかにする必要があります。

行事

平成十八年度

4月1日	新年度説明会
4月4日	園児健康診断(3日間)
4月18日	親子歓迎遠足
4月22日	おたのしみ会
5月12日	端午の節句おたのしみ会
5月27日	年少組親子保育
6月1日	父母の会総会
6月17日	歯科検診
6月27日	年少組親子保育
7月7日	おたのしみ会
7月23日	七夕おたのしみ会
7月28日	保護者ボランティア活動
8月15日	プール開き
8月15日	お泊まり保育(青組)
8月29日	おたのしみ会
9月16日	運動会
9月29日	おたのしみ会
10月6日	おたのしみ会
10月19日	敬老の集い
11月10日	敬老の集い
11月26日	園児健康診断(2日間)
12月10日	おたのしみ会
12月25日	おたのしみ会
12月28日	おたのしみ会
12月29日	おたのしみ会
12月31日	おたのしみ会
1月12日	おたのしみ会
1月26日	おたのしみ会
1月29日	おたのしみ会
2月9日	おたのしみ会
2月24日	おたのしみ会
3月2日	おたのしみ会
3月8日	おたのしみ会
3月15日	おたのしみ会
3月21日	おたのしみ会
3月28日	おたのしみ会

この一年

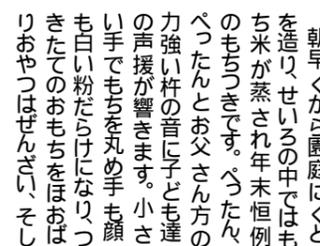
(17年10月 - 18年11月)

この1年間の行事を紹介致します。子どもも保護者も職員も思い出多い行事ですが、行事のあり方については常に検討をし、長い歴史の中で変化しています。これからも、子どもにとって何が大事かをよく考え、しっかり見極めていきたいと思ひます。

表現をしています。



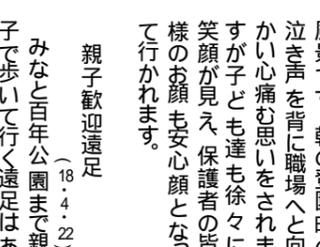
リトミック発表会
(17.10.27)
0才児から5才児まで年齢別に行っています。乳幼児の生活や遊びの中に音楽と動きを結びつける音楽表現活動を見だし、さらに感性豊かに発展させるように取り組んでいるリトミックです。保護者の前で少々緊張しながら保育士の弾くピアノの音やリズムを聴き想像をめぐらし身体で



もちつき
(17.12.22)
朝早くから園庭にくとを造り、せいろうの中ではもち米が蒸され年末恒例のもちつきです。べったんべったんとお父さん方の力強い杵の音に子ども達の声援が響きます。小さい手でもちを丸め手も顔も白い粉だらけになりました。おもちをほおばりおやつはせんぱい、そして



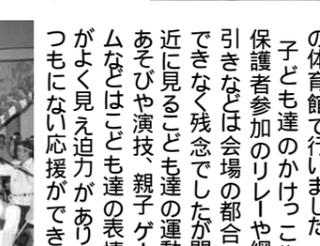
発表会
(18.2.18)
舞台の上で一人ひとりが自分の持っている力を十分に発揮したくさんの



入園式
(18.3.28)
子どもも保護者もこれから始まる保育園生活に不安が一杯で迎える入園式です。4月1日からお預かりするため3月末に入園式を行っているのはつばみならではの風景です。朝の登園時の泣き声を背に職場へと向かい心痛む思いをされま



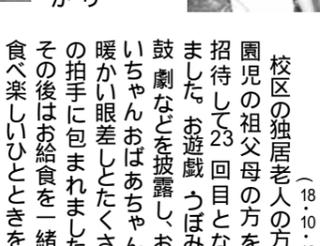
お泊まり保育
(18.7.14-15)
青組5才児の保育園でのお泊まりです。



運動会
(18.9.16)
42回目の運動会は雨天となり千早西小学校の体育館で行いました。子ども達のかけっこや保護者参加のリレーや綱引きなどは会場の都合でできなく残念でしたが間近に見ることも達の運動あそびや演技、親子ゲームなどはとても達の表情がよく見え迫力があ



友愛セール
(18.11.18)
今年は雨模様となり少々混雑致しましたがあそびや演技、親子ゲームなどはとても達の表情がよく見え迫力があ



敬老の集い
(18.10.19)
校区の独居老人の方と園児の祖父母の方をこ招待して23回目となりました。お遊戯うほま鼓劇などを披露し、おじいちゃんおばあちゃんの暖かい眼差しとたくさんのお手紙に包まれました。その後はお給食と一緒に食べ楽しいひとときを過ごしました。また、子ども達と職員の手づくりの陶器のお皿のおみやげもたいそう喜んでいただきました。



福祉体験・交流学習
(18.10.19)
保育園児との交流を通して手話広報活動に8名の生徒さんがやってきました。青組5才児との交流の中でさんぼの歌に合わせて手話を教えてもらったり挨拶の仕方や自分の名前を手話で教えてもらいました。



影絵劇場
(18.11.26)
おたのしみ会で上映したお話を3本まとめて地域の方に披露している影絵劇場も今年で12回目です。本格的なスクリーンと照明器具を駆使し、脚本から人形づくり、背景づくり、録音、人形の操作など練習に熱が入りました。

たんぼ音楽会
(18.1.29)
サンパレスで開催されるたんぼ音楽会も30回目です。青組5才児の今回の発表曲は雨の遊園地、素晴らしい演奏を聴かせてくれました。鍵盤ハーモニカとアコーディオンで織りなすハーモニー、リズムを刻み彩りとなる打楽器、そしてピアノがけめくり一つにまとめたあべ子どもたちが合奏の主体となつて曲を奏するつばみ保育園の演奏スタイルは毎年このことですが絶賛をいただきました。

卒園式
(18.3.21)
41回卒園式。ご家族の皆様、お友達、職員が見守る中、一人ひとりが園長先生から卒園証書をもらい巣立っていきま

ボランティア活動
(18.7.6)
父母の会主催で感謝の気持ちを清掃でおかえししたいとの趣旨で保育園「ピカピカデー」にたくさんの方々が集まり、お部屋のワックス掛けやプール掃除、園庭の整地などを行いました。園庭で懇親会が行われ、汗をかいたあとの生ビールにハーベキユーは最高でした。

三日月山登山
(18.11.1)
青組5才児は千早から下原まで路線バスに乗って高さ一七二メートルの三日月山に登りました。登山口から約50分位かかりお友達と一緒に励まし合いながら登りました。頂上から見える景色に驚きの声を上げ、バツ取りや草スキーなど自然の中でたくさん遊びました。

城浜診療所
(18.7.7)
七夕交流会。近頃の城浜診療所のデイケア利用者との七夕会に招待されました。手あそびなどとして触れ合つてあそび最後に「きらきら星」を鍵盤ハーモニカで演奏し、たくさんのお手紙をもらいました。おばあちゃんの手、しわしわやったよな

職場体験学習
(18.10.11)
職業探求の一環として10月に中学生は2名、11月に小学生は4名の生徒さんが3日間やってきました。子ども達の姿や関わり方、保育士としてのやりがいのある仕事などが少しも体験の中から学んでもらえたいいなと思つていました。子ども達も仲良くなりたくさん遊んでもらう大喜びでした。

職場体験学習
(18.10.11)
職業探求の一環として10月に中学生は2名、11月に小学生は4名の生徒さんが3日間やってきました。子ども達の姿や関わり方、保育士としてのやりがいのある仕事などが少しも体験の中から学んでもらえたいいなと思つていました。子ども達も仲良くなりたくさん遊んでもらう大喜びでした。

職場体験学習
(18.10.11)
職業探求の一環として10月に中学生は2名、11月に小学生は4名の生徒さんが3日間やってきました。子ども達の姿や関わり方、保育士としてのやりがいのある仕事などが少しも体験の中から学んでもらえたいいなと思つていました。子ども達も仲良くなりたくさん遊んでもらう大喜びでした。

平成17年度 つばみ保育園経理区分 決算状況 (単位 千円)		
【 資金収支計算書 】		
経常活動による収支	運営費収入	139,173
	利用料収入	7,054
	その他の経常活動収入	19,338
	経常収入計 (1)	165,565
	人件費支出	131,955
	事務費支出	17,489
	事業費支出	23,074
	その他の経常活動支出	0
	経常支出計 (2)	172,518
	経常活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	6,953
施設整備等による収支	施設整備等収入計 (4)	535
	施設整備等支出計 (5)	1,878
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	1,343
財務活動等による収支	財務収入計 (7)	8,000
	財務支出計 (8)	4,000
	財務活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	4,000
当期資金収支差額合計 (10)=(3)+(6)+(9)		4,296
前期末支払資金残高 (11)		20,973
当期末支払資金残高 (10)+(11)		16,677

【 貸借対照表 】		
資産	流動資産	22,935
	固定資産	123,060
資産の合計		145,995
負債	流動負債	6,258
	固定負債	0
小計		6,258
純資産	基本金	43,103
	国庫補助金等特別積立金	34,697
	その他の積立金	30,000
	次期繰越活動収支差額	31,937
	小計	139,737
負債及び純資産の合計		145,995

平成18年度 職員構成 (12月1日現在37名)	
園長	大浦 純平
副園長	大久保 雅子
主任	田村 明子
副主任	三笠 良子
もも組	吉澤 利恵美 江美 高松 野田 美和子 小田 晃子 阿部 俊子 野中 智子 西村 美香 田淵 香奈 成清 悦子
うめ組	小早川 絃美 田村 綾子 林 郁子 小西 真弓 横山 しのぶ
さくら組	宮川 仁美 大野歩(産休中) 岡崎 久美子 相部 共美 早田 みやこ 松尾 裕美 左古田 香織
すみれ組	中岡 千晶
れんげ組	猿渡 健一
つくし組	白川 睦実
わらび組	白井 颯子 なすな組 白石 晴美
栄養士	福島 千春
調理員	岩崎 真樹 岡崎 千代 三小田 菜穂子 松下 珠美
用務員	中島 涼子

平成18年度 父母の会役員		
会長	中島 秀樹 (れんげ)	
副会長	的野 元和 (つくし)	
	中山 恵美子 (わらび)	
	力丸 ひとみ (すみれ)	
会計	小倉 和子 (つくし)	
	足立 有希子 (すみれ)	
書記	船越 正子 (さくら)	
	徳山 愛巳 (うめ)	
委員	梅木 孝 (もも)	
	大神 貴夫 (もも)	
	小田 加奈恵 (うめ)	
	今堀 志保 (うめ)	
	永井 隆美子 (すみれ)	
	松浪 稔 (すみれ)	
	高山 哲也 (れんげ)	
	尾嶋 梢 (れんげ)	
	秦 由美 (つくし)	
	楠木 真樹 (つくし)	
	房前 静佳 (わらび)	
	藤井 由布子 (わらび)	
	岡田 美咲 (わらび)	
	瀧原 茜 (なすな)	
	中富 重雄 (なすな)	
監査	佐々木 由紀恵(わらび)	
	永江 美代子 (つくし)	

平成18年度 父母の会役員	
会長	中島 秀樹 (れんげ)
副会長	的野 元和 (つくし)
	中山 恵美子 (わらび)
	力丸 ひとみ (すみれ)
会計	小倉 和子 (つくし)
	足立 有希子 (すみれ)
書記	船越 正子 (さくら)
	徳山 愛巳 (うめ)
委員	梅木 孝 (もも)
	大神 貴夫 (もも)
	小田 加奈恵 (うめ)
	今堀 志保 (うめ)
	永井 隆美子 (すみれ)
	松浪 稔 (すみれ)
	高山 哲也 (れんげ)
	尾嶋 梢 (れんげ)
	秦 由美 (つくし)
	楠木 真樹 (つくし)
	房前 静佳 (わらび)
	藤井 由布子 (わらび)
	岡田 美咲 (わらび)
	瀧原 茜 (なすな)
	中富 重雄 (なすな)
監査	佐々木 由紀恵(わらび)
	永江 美代子 (つくし)

主任保育士 田村